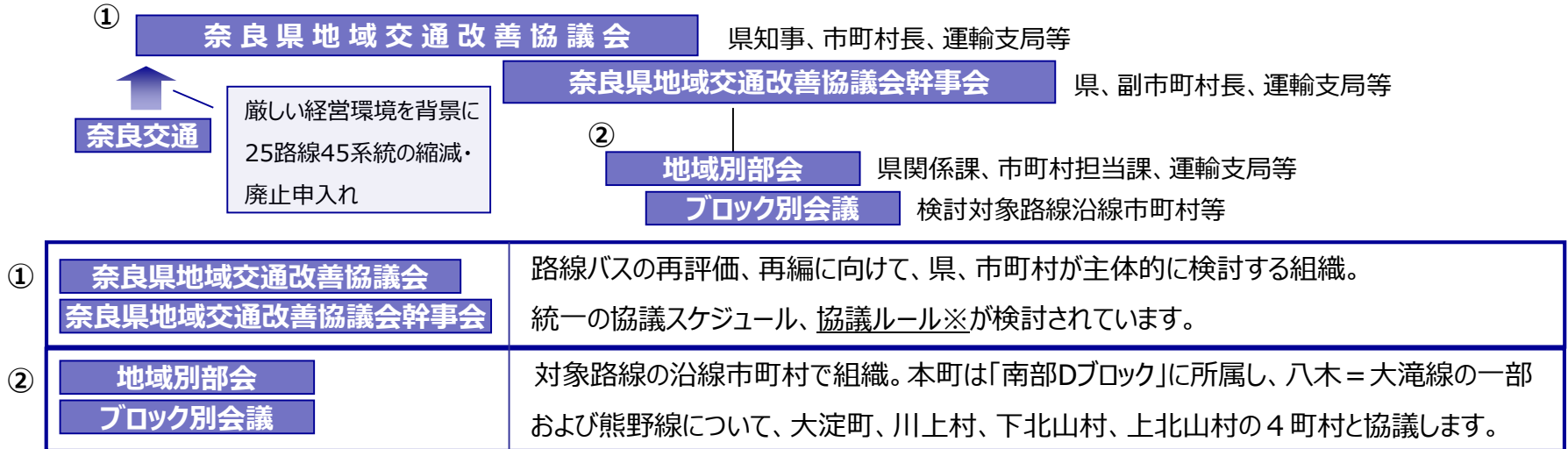


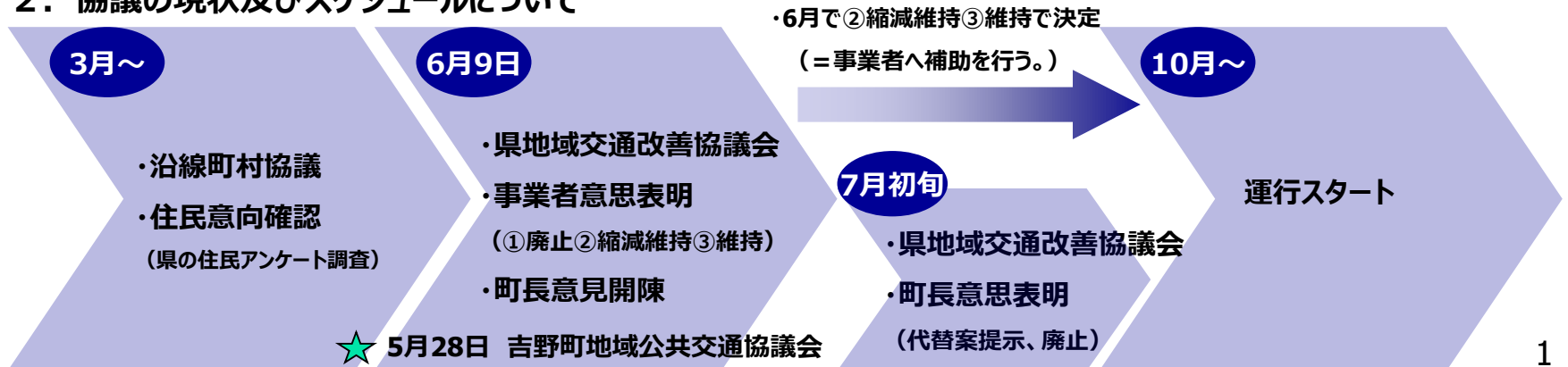
# 奈良交通路線バス（八木＝大滝線）について

## 1. 奈良交通路線バス25路線45系統に関する協議状況について



※協議ルールとは・・・県から提示される「バスカルテ」（利用状況や収益状況等について、指標に基づいた路線毎の評価を行った資料）と事業者から提示される路線バスの現状等の資料を参考として、路線毎に協議をしていくことを基本とするなど、協議するしくみのこと。

## 2. 協議の現状及びスケジュールについて



### 3. 奈良県「バスカルテ」の各指標

#### ①1便あたり乗車人員 3.0人以上

・乗車人員が乏しいにも関わらず運行していないか。

#### ②平均乗車密度 2.0人以上

・「乗合」として2人以上乗っているか。区間による偏りがないか。

#### ③最大乗車人員 11人以上

・乗車人員に対応した車両の規模・ダイヤとなっているか。参考：ジャンボタクシーの乗車定員10名

#### ④収支率 40%以上

・赤字であってもデマンドタクシー以上のバスの特性を有しているか。 ※ 1  
・交通事業者のバス路線として、赤字であるものの、一定規模の利用者はいるか。 ※ 2

#### ⑤1人あたりの補助金 2,000円/人未満

・デマンドタクシー以上の特性を発揮し、バスの乗車人員に見合うような補助をしているか。  
・デマンドタクシーに転換した方が効率的でないか。 ※ 3

#### 左記指標をクリアできない場合

・乗車促進策・廃止の検討

・路線の縮小の検討

・車両の大きさの検討

・運行時間・時期・手法の検討

・運行効率化の抜本的  
改善策の検討

・連携コミュニティバス等に転換  
・県補助率の見直し

移動ニーズに応じた交通サービスの提供体制の構築をするにあたり、今後、上記指標による「仕分けフロー」に基づき、PDCAサイクルによる定期的検証を行う方向で協議されています。

参考 ※ 1 県内デマンドタクシー収支率：19.8% ※ 2 「25路線・42系統」の平均収支率：47%

※ 3 県内のデマンドタクシー1人あたりの平均行政負担額：2,000円/人

#### 4. 平成26年度（平成25年10月1日～平成26年9月30日間）で見る八木＝大滝線の現状

路線名	経由地		運行回数 /日	奈良県指標値における八木＝大滝線実績					通過走行距離（km）		
				1便あたりの 乗車人員	平均乗車密度	最大乗車人員	収支率	1人あたり補助金	吉野町	大淀町	川上村
八木 大滝線	櫻尾	平日	6回	4.2	1.3	19.0	26.3	498.0	9.8	4.55	5.95
		土日	6回								
	国栖	平日	0.5回	9.0	2.4	7.0	36.8	県補助対象外 ※	16.3	4.55	8.55
		土日	0.5回								

※運行回数3回/日の補助要件を満たしていないため、国庫補助および県の補助対象外となります。

網掛けされている項目が、奈良県の指標をクリアできていない項目です。よって、本町が関係する路線は、奈良県の仕分けルールにもとづいて、何らかの改善策を検討することになっています。



#### 【吉野町の方向性】

1. 現状の路線バス（八木＝大滝線）への補助は行わないが、スマイルバスでの代替を検討し、利用者の利便性確保に努めます。
2. 代替の方法は、本町内のみだけでなく、隣接町村との広域連携を視野に検討することとし、奈良県南部地域のより良い交通体系の整備に努めます。